



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL https://www.koashoji-hd.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	11,104	7.1	1,502	159.3	1,532	148.7	1,056	312.3
2019年6月期第3四半期	10,364	△1.2	579	△34.5	616	△30.8	256	△49.8

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 1,055百万円 (297.5%) 2019年6月期第3四半期 265百万円 (△46.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	106.67	—
2019年6月期第3四半期	25.87	—

(注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	21,876	14,227	65.0
2019年6月期	22,088	13,409	60.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 14,227百万円 2019年6月期 13,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	3.9	1,950	61.1	1,970	54.3	1,350	106.5	136.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	9,904,995株	2019年6月期	9,904,995株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	290株	2019年6月期	275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	9,904,712株	2019年6月期3Q	9,904,802株

（注）当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年10月の消費税増税に伴う個人消費の低迷や、新型コロナウイルスの感染拡大が原因で世界的規模での経済の下振れリスクが高まっており、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society5.0』への挑戦～」(骨太方針2019)でも「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む。」と明記されており、ジェネリック医薬品は今後も数量シェアの拡大が続くものと見込まれます。その一方で、2年に1回としてきた薬価改定を2021年度から毎年実施する方針が了承され、価格の引き下げ圧力が増すなど厳しさも見えてきております。

このような事業環境の中で、当社グループは高品質で安価な輸入原薬を提供することに主眼をおいて、医薬品原料である原薬の輸入販売を行うとともに、注射剤を中心とした医薬品製剤の開発・製造・販売を行い、原薬の調達から製剤までの一貫した製造が可能な体制のもと、国内外の医薬品メーカーと幅広く取引を実施しております。また、自社開発品の製造・販売並びに国内大手メーカー等からの製造受託を通じて、ジェネリック医薬品を中心に医薬品業界における多様なニーズに対応できる事業展開を行っております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,104百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益1,502百万円(前年同期比159.3%増)、経常利益1,532百万円(前年同期比148.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,056百万円(前年同期比312.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、引き続き高脂血症用剤用原薬等の販売が在庫調整による需要減や競合他社の参入により減少したものの、抗生物質製剤、催眠鎮静剤、アルキル化剤等の販売の増加等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,899百万円(前年同期比1.0%減)となりました。一方でセグメント利益については、引き続き利益率の低い取引の減少を利益率の高い取引の増加で補うこと等売上構成の変化により1,293百万円(前年同期比25.9%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高761百万円(前年同期比30.7%増)を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、第2四半期より開始した一部製品の受託製造が堅調に推移し、売上高は3,967百万円(前年同期比33.7%増)、セグメント利益は229百万円(前年同期は370百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は21,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,098百万円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少1,074百万円、電子記録債権の減少320百万円等があったことによるものであります。

負債は7,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,030百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務の増加352百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少546百万円、長期借入金の減少240百万円、および設備関係未払金を含む流動負債のその他の減少550百万円があったことによるものであります。

純資産は14,227百万円となり、前連結会計年度末と比べ818百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,056百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少237百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より4.3ポイント増加し、65.0%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期業績予想につきましては、本日(2020年5月12日)連結業績予想および配当予想を修正いたしました。詳細は、本日(2020年5月12日)公表の「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

新型コロナウイルス感染拡大による当社グループへの影響について

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、世界10ヶ国以上90社以上の原薬製造業者より輸入仕入を行っております。

中国においては、感染の拡大が2月にピークをむかえた後は、新たな感染者数も落ち着いております。医薬品原薬の製造におきましては2月のピーク時も継続しており、物流面での遅延、納期未確定が続きましたが、徐々に改善されてきております。

EU諸国での取引先はスペイン、イタリア、ドイツ等数社ずつあり、当社グループとしても重要な原薬製造業者が多い地域となります。各国での感染者急増に伴い、主要都市の封鎖、移動制限や外出の制限、店舗閉鎖等の対策が打ち出されておりますが、医薬品業界には各種規制が適用されず、各原薬製造業者は従業員の感染防止対策を徹底したうえで稼働しております。

当社グループといたしましては、得意先医薬品製販業者が必要とする原薬を必要な時期に問題なく納入できるような体制をとっております。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、サプライヤーおよび原薬販売業者からの情報収集に努めており、また、製造現場におきましては、行政指示を受け入れ労務面に配慮しつつ衛生管理を実施しており、生産活動に影響がないように取り組んでおります。

以上のことから、現時点では新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業活動における影響は軽微なものであり、輸入が滞るリスクや為替相場が変動し原料の仕入価格が急激に変動するリスク等があるものの、現在の在庫状況から業績に対する影響も軽微なものと認識しております。また、手元資金・借入による必要資金は確保されており、不測の事態に対する調達に懸念はないと考えております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための当社グループの取り組みについて

当社グループは国民の健康を守る医薬品業界を担っている立場の者として、今後も医薬品の安定的な提供に努めてまいります。

感染拡大防止のための政府による緊急事態宣言および各都府県からの要請を受け、人と人との接触8割削減を実現すべく、役職員の在宅勤務や不要不急な取引先との会合禁止等を実施しております。感染拡大防止と事業継続の体制維持の観点から、顧客や従業員等の健康・安全確保のために実施している取組については、2020年3月10日、4月16日に、当社グループホームページで開示しております。

今後、重要な事象が発生した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,865,392	5,963,577
受取手形及び売掛金	4,783,366	3,708,581
電子記録債権	2,611,499	2,290,831
商品及び製品	945,193	1,759,278
仕掛品	104,862	235,131
原材料及び貯蔵品	491,915	347,384
その他	532,828	91,587
貸倒引当金	△10,663	△527
流動資産合計	14,324,394	14,395,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,727,729	4,741,139
減価償却累計額	△1,573,758	△1,721,316
建物及び構築物 (純額)	3,153,970	3,019,822
機械装置及び運搬具	3,409,426	3,429,795
減価償却累計額	△1,017,799	△1,175,945
機械装置及び運搬具 (純額)	2,391,627	2,253,850
工具、器具及び備品	1,070,873	1,099,397
減価償却累計額	△891,433	△931,043
工具、器具及び備品 (純額)	179,439	168,353
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	—	1,473
有形固定資産合計	7,486,812	7,205,273
無形固定資産		
その他	82,803	69,799
無形固定資産合計	82,803	69,799
投資その他の資産		
投資有価証券	99,534	97,081
繰延税金資産	60,670	62,235
退職給付に係る資産	20,681	30,240
その他	13,506	15,533
投資その他の資産合計	194,393	205,091
固定資産合計	7,764,009	7,480,164
資産合計	22,088,404	21,876,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,256,441	1,710,005
電子記録債務	193,370	545,945
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	303,632	321,332
未払法人税等	336,588	226,311
賞与引当金	45,434	76,033
その他	1,022,819	472,357
流動負債合計	5,008,286	4,201,985
固定負債		
長期借入金	3,345,676	3,104,677
繰延税金負債	21,976	22,596
役員退職慰労引当金	91,575	95,595
退職給付に係る負債	109,083	117,066
その他	102,807	106,990
固定負債合計	3,671,117	3,446,925
負債合計	8,679,403	7,648,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	12,649,945	13,468,814
自己株式	△293	△305
株主資本合計	13,377,757	14,196,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,926	30,333
繰延ヘッジ損益	△2,683	150
その他の包括利益累計額合計	31,242	30,483
純資産合計	13,409,000	14,227,098
負債純資産合計	22,088,404	21,876,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	10,364,320	11,104,784
売上原価	7,945,107	7,882,700
売上総利益	2,419,212	3,222,083
販売費及び一般管理費	1,839,798	1,719,596
営業利益	579,414	1,502,487
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,229	2,330
為替差益	27,272	20,267
受取手数料	8,331	6,438
補助金収入	12,668	11,148
受取補償金	1,034	9,020
その他	4,011	2,450
営業外収益合計	55,547	51,654
営業外費用		
支払利息	18,644	20,082
その他	241	1,948
営業外費用合計	18,886	22,031
経常利益	616,075	1,532,110
特別利益		
固定資産売却益	7,960	—
販売権譲渡益	—	36,591
特別利益合計	7,960	36,591
税金等調整前四半期純利益	624,035	1,568,702
法人税、住民税及び事業税	359,846	512,232
法人税等調整額	7,947	△112
法人税等合計	367,794	512,120
四半期純利益	256,241	1,056,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,241	1,056,582

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	256,241	1,056,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,811	△3,593
繰延ヘッジ損益	1,587	2,834
その他の包括利益合計	9,399	△758
四半期包括利益	265,640	1,055,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,640	1,055,823

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,396,794	2,967,525	10,364,320	-	10,364,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	582,558	-	582,558	△582,558	-
計	7,979,353	2,967,525	10,946,879	△582,558	10,364,320
セグメント利益又は損失(△)	1,027,426	△370,985	656,441	△77,026	579,414

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△77,026千円には、セグメント間取引の消去△5,757千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△370,092千円、及びその他の調整額298,824千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,137,550	3,967,234	11,104,784	-	11,104,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	761,469	-	761,469	△761,469	-
計	7,899,019	3,967,234	11,866,254	△761,469	11,104,784
セグメント利益	1,293,754	229,835	1,523,589	△21,101	1,502,487

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,101千円には、セグメント間取引の消去12,061千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,760千円、及びその他の調整額315,597千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。